

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	感染症予防事業	担当課	保健センター	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成20年度～
	施策	健康づくりの推進	種別	任意的事務
	基本事業	感染症の予防・拡大防止	市民協働	
予算科目コード	01-040102-17 単独	根拠法令・条例等	新型インフルエンザ等対策特別措置法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成21年度以降新型インフルエンザ流行から感染症予防に対する意識は高まったものの正しい行動をとれていない状況がある。新たな健康危機管理として、感染症対策の取り組みが必要となった。	感染症予防及び拡大防止のため 市民向け周知：感染症予防に関する情報をホームページ、広報、ポスター掲示する。 感染予防対策：来庁者向けに庁舎窓口に手指消毒液を設置する。 集団感染拡大予防：感染症予防研修会を実施する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民が感染症予防の知識を得ることにより、感染の拡大を予防したい。	
（参考）基本事業の目指す姿	
感染症の予防と啓発に努め、発生とまん延を防ぐ。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
感染症予防を行動するのは1度学んだだけでは難しいため毎年同様の内容を実施する。	市民および子どもと接する機会がある施設職員に感染症予防研修会を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
予防接種者数（人）	29,091.00	27,416.00	27,212.00	26,267.00	26,267.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	手指からの感染予防対策として手洗い後の手指乾燥目的にトイレにペーパータオルを設置する等、研修内容を生かした対策を始めた施設もあり、意識の向上を図ることができている。今後も研修会をととして感染予防対策の啓発により意識向上を目指す。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	引き続き感染症予防研修会で教育、周知を行っていく。				

コストの推移						
	項目	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	263	210	242	131	131
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	263	210	242	131	131
	正職員人工数（時間数）	0.00	0.00	60.00	0.00	0.00
	正職員人件費	0	0	246	0	0
	トータルコスト	263	210	488	131	131

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	高齢者予防接種助成事業	担当課	保健センター	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成24年度～
	施策	健康づくりの推進	種別	法定事務
	基本事業	感染症の予防・拡大防止	市民協働	
予算科目コード	01-040102-20 単独	根拠法令・条例等	予防接種法 守谷市法定外予防接種の実施に関する要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>定期予防接種は、感染症の重症化予防、感染症の発生及び蔓延予防を目的に、予防接種法に基づき実施している。また、任意の肺炎球菌予防接種は、定期予防接種年齢以外の者に接種の機会を確保し、肺炎による重症化を防ぐことを目的に費用助成を実施している。</p>	<p>医療機関で接種した接種費用の一部を医療機関窓口もしくは償還払いにて助成する。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>予防接種法に基づき、インフルエンザは伝染の恐れがある疾病の発生及び蔓延を予防するために、また、高齢者肺炎球菌は肺炎の重症化予防を目的とする。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>感染症の予防と啓発に努め、発生とまん延を防ぐ。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
希望する者が接種できるよう助成事業を周知する事で接種環境の維持を図る	対象者に対して個人通知による周知を実施し、希望者が接種する事で感染症の重症化予防に努めた

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
インフルエンザ予防接種の接種人数	5,721.00	5,774.00	6,057.00	6,799.00	7,900.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	対象者には個人通知で周知をしており、希望者が接種できる環境が整っているため成果の向上は見込めないが、引き続き希望者が接種できる環境の維持を図る				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	高齢者の定期予防接種は法律上、積極的な接種勧奨は行えない。事業の周知と助成により希望者が接種を行える環境の維持に努めていく。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	16,455	15,144	16,361	18,418	18,418
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	12,437	0
	一般財源	16,455	15,144	16,361	5,981	18,418
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	110.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	451	0	0
トータルコスト		16,455	15,144	16,812	18,418	18,418